

ユニオン学習会

「子どもの権利を基盤とした学びのあり方」



主催：静岡県高等学校しょうがい児学校ユニオン

共催：一般財団法人 教育総合研究所

日時：2024年2月17日(土)14時～16時

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 4階第1研修室

(静岡市駿河区馬淵1丁目17-1) TEL054-250-8147

講師：池田 賢市さん

中央大学(文学部教育学専攻)教授。博士(教育学)。大学では、教育制度学、教育行政学等を担当。専門はフランスにおける移民の子どもへの教育政策および障害児教育制度改革の検討。共生や人権をキーワードとして研究を進めておられます。著書に『学校で育むアナキズム』(新泉社)、『学びの本質を解きほぐす』(新泉社)、「フランスの移民と学校教育」(明石書房)など。

どなたでもご参加いただけます(参加費無料)。
事前に参加申し込みをいただければ、規定により交通費を補助いたします。

申し込みは申し込みフォームから →

↓ メール、電話、FAXでの申し込みも可

E-mail yunionn@aqua.ocn.ne.jp

電話(054-253-7141) *月~金の10~14時

FAX(054-253-7180)

「2月学習会希望」と明記し、お名前・ご連絡先(電話番号・E-mail アドレス)、住所を添えてお申し込みください



多忙を極める学校現場。静岡県立高校教職員の33.5%が月100時間・年間720時間等の時間外在校等時間の特例超過(過労死ラインとされる月80時間を大きく超える)状態です。精神疾患による長期療養者は6年連続で増加し、病気休職者等の欠員が補充されず、超勤・多忙が連鎖的に拡大しています。一方で不登校は増加し続け、子どもたちの学校からの「逃避」がとまりません。「校則」「生徒指導」「特別支援教育」・・・子どもの人権が尊重されていない実態はなんら改善されていません。競争原理と支配・従属の権力構造にとらわれがちになっている学校を、学びの本質から根幹的に見直す必要があります。

学校や社会を変えていくカギになるのが、相互信頼・相互扶助・共同体における自立と共生の思想です。私たちの日常世界ではごく自然の考え方です。子どもの人権を尊重して、信頼し、任せ、助け合うことができれば、一方的に「教え・教えられる」という縦の関係ではなく、共に学びあうワクワクするような創造性に満ちた学びが実践できれば、状況は変わります。学校での学びのあり方に新たな展望を開く、そんな機会にしていきたい講演会です。ぜひご参加ください。